

8/5 news
武蔵野下5町内会有志

アンチョウの滝の歩道など整備

8月5日、武蔵野下5町内会有志の皆さんが生保内公園アンチョウの滝の歩道などの整備を行いました。訪れる人が歩きやすいようにと遊歩道の除草や社の清掃や塗装の塗り直しなどが昨年に引き続き行われ、額の汗をぬぐいながら熱心な作業が続きました。有志の皆さんは「せっかく遊歩道や東屋などがあるので、皆さんが訪れやすくなるよう、これからも機会を見て作業したい」と話しました。



社の清掃や塗装の塗り直しなど、暑い中、作業が続きました。

8/1 news
地域貢献活動

公園の遊具 色鮮やかに

8月1日、瀧神巧業（佐藤慎社長：角館町）の社員が松庵寺敷地内公園（角館町田町上丁）の遊具の塗装を行いました。塗装の剥がれやさびが目立ってきた同公園のブランコや滑り台、鉄棒について市民から相談を受け、奉仕活動を承諾したものの。作業を行った大平さんは「公園の遊具が少なくなっている。地域のものを守ることに少しでも貢献していきたい」と話しました。



園児や学生が多く利用する公園。設置された遊具は色鮮やかに塗装されました。

7/24・30 event
仙北市食生活改善推進協議会

レッツ！チャレンジ健やかクッキング教室

仙北市食生活改善推進協議会では7月24日に角館支部（佐藤淑子支部長）で、7月30日に田沢湖支部（木村妙子支部長）で地域の小学生と保護者を対象とした料理教室を開催しました。児童たちは、食生活改善推進員と一緒にキーマカレーなどを調理・試食したほか、食べ物についてのお話や食育かるたで楽しみながら元気なからだをつくる食事の大切さについて学びました。（西木支部では冬休みに開催する予定です）



- ・枝豆たっぷりキーマカレー
- ・星くずのいどりサラダ
- ・フルーツボンボン



▼24日に角館小学校で行われたクッキング教室



▶30日は神代の就業改善センターで開催

8/2~4 event
角館キッズ学びい教室

オタスケマンが子どもたちの勉強を支援

8月2日から4日まで、仙北市総合情報センターで「角館キッズ学びい教室」が行われ、市内の小・中学生など138人が参加しました。この教室は、「楽しい学習オタスケマンの会（菅原正五郎会長）」が子どもたちの自学自習を支援しようと12年前から開かれ、今回が21回目。退職した先生や現職の先生、高校生など39人が「オタスケマン」となり、子どもたちの学習指導にあたりました。「楽しみにしている様子が伝わる」「勉強の場を作ってもらってありがたい」と保護者からの信頼も厚く、子どもたちは「家でやるより勉強が進む」と意欲的に学習に取り組んでいました。



子どもたちに学習指導をするオタスケマン

7/25 event
玉川ダム交流会

ダムの様々な役割学ぶ

7月25日、ダムへの理解と森林や水などの自然資源への認識を深めてもらおうと、玉川ダム交流会が開催されました。この交流会には、水源地である仙北市の小学校7校と、受益地の四ツ屋小学校（大仙市）、中通小学校（秋田市）の4年生267人が参加しました。ダムの堤体内部や玉川発電所などを見学し役割などを学んだほか、他校の児童と名刺を交換するなど、交流を深めました。



ダムの堤体内部を見学

8/3 event
田沢湖再生基本計画策定検討会

クニマスを機に田沢湖再生を

絶滅したとされていた『クニマス』の生息が山梨県西湖で確認されてから、これまで以上に田沢湖の持つ歴史などに対する関心が高まっています。これを機会として、田沢湖再生への方向性を共有する田沢湖再生基本計画の策定を目的に「田沢湖再生基本計画策定検討会」が8月3日に設置され、会長に吉田裕幸さん（田沢湖漁業協同組合長）が選任されました。この検討会は、田沢湖クニマス会議会員などの18人の委員で組織。3日は遊覧船に乗り、湖岸などを視察し、その後に行われた第1回目の会議では、クニ

田沢湖ハーブガーデン「ハートハーブ」を会場に行われた第1回目の検討会



マス里帰りプロジェクト事業に関する意見交換会の概要や田沢湖再生をテーマとしたプロジェクト事業の素案をもとに、活発な意見交換が行われました。